

政策目標 4

場のが創造する魅力・活力のあるまち

令和2年度実績

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	4	場の力が創造する 魅力・活力のあるまち
施策分野	1	観光の振興
基本計画		多くの人を訪れ、満足していただける感動（観光）都市を目指します。

担当課	観光課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
多くの人を訪れ、満足していただける感動（観光）都市を目指します。	観光客数	目標値		649万人	662万人	675万人	688万人	700万人	観光課
		実績値		655万人	665万人	656万人	662万人	483万人	
	観光客の満足度	目標値		100%	100%	100%	100%	100%	〃
		実績値		79.4%	80.7%	75.0%	62.3%	57.6%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	新型コロナウイルス感染症の影響により年間来遊客数は大幅に減少した。「GOTOトラベルキャンペーン」実施期間中には、一時的な回復を見せたが、キャンペーン停止以降は再度落ち込み、年明け以降は宿泊客数は前年比6割減、日帰り客についても2割減となり厳しい状況が続いている。								
	全体で前年比4.7%減となっている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で本来1,700サンプルを回収し数値を集計するところを、968サンプルしか回収できていない。数値については回収できたサンプルを元に集計を行ったが、例年との経年で比較する数値としては参考程度と考えている。満足度を測っていく数値の減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光施設等が休業したことや営業時間を変更したことにより、通常どおりの受入れができなかったことが原因だと考えられる。								

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1	地域資源を活用した魅力ある観光地づくりの推進	年間来遊客数	目標値	649万人	662万人	675万人	688万人	700万人	観光課
			実績値	655万人	665万人	656万人	662万人	483万人	
O2	おもてなしの心の育成と交流の推進	自然歴史案内人養成講座数	目標値	5講座	5講座	5講座	5講座	5講座	〃
			実績値	5講座	5講座	5講座	5講座	5講座	
O3	外国人観光客の誘客推進	外国人宿泊客数	目標値	110,000人	120,000人	130,000人	140,000人	150,000人	〃
			実績値	84,590人	58,928人	55,161人	73,750人	—	
O4	観光ニーズに対応した情報の発信	観光協会HPのコメント数	目標値	1,800,000回	1,800,000回	1,800,000回	1,800,000回	1,800,000回	〃
			実績値	1,961,854回	2,576,782回	2,693,160回	2,327,820回	2,310,629回	
O5	観光施設の高付加価値化	整備事業数	目標値	10事業	10事業	10事業	10事業	10事業	〃
			実績値	13事業	12事業	11事業	11事業	4事業	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	新型コロナウイルス感染症の影響により年間来遊客数は大幅に減少した。「GOTOトラベルキャンペーン」実施期間中には一時的な回復を見せたが、キャンペーン停止以降は再度落ち込み、年明け以降は宿泊客数は前年比6割減、日帰り客についても2割減となり厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス感染症の状況を注視する中で、誘客を促進するための施策を実施し数値の回復を目指していく。							
	O2	自然歴史案内人養成講座については、目標値である5講座を実施し、受講者の知識やおもてなし力の向上に努めた。							
	O3	外国人宿泊客数については、新型コロナウイルス感染症の影響で出入国が制限されていることを鑑み、伊東観光協会が調査自体を見合わせたため実績値は不明。感染症の収束が見通せない中では、海外からの観光需要を繋ぎ止めるための情報発信に注力していくとともに、感染症の状況を注視する中で、国外からの誘客施策に踏み切れるタイミングを見極めて事業を実施していく。							
	O4	カウント数（ページビュー）については、前年比減となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響で観光需要自体が落ち込み、国が実施した「GOTOトラベルキャンペーン」が停止している中でも、それほど数値が大きく落ち込んでいない状況は、本市が発信している情報がユーザーに求められているものであると考えられる。誘客施策が通常通り実施できない中で、本市の情報を外に伝え、国内の観光需要を繋ぎ止めることが重要であるため、感染症収束後の誘客を見越した積極的な情報発信を継続して実施していく。							
	O5	新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた7事業の内の4事業の実施となった。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 地域資源を活用した魅力ある観光地づくりの推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	魅力ある観光イベントの創出	新規事業発案数	目標値	3事業	3事業	3事業	3事業	3事業	観光課
			実績値	2事業	3事業	4事業	0事業	1事業	
O102	事業の検証によるイベントの精査	精査したイベント数	目標値	3事業	3事業	3事業	3事業	3事業	〃
			実績値	1事業	2事業	4事業	0事業	0事業	
O103	民間事業者との協働による事業数	伊東市誘客対策促進事業費補助金対象事業数	目標値	15事業	15事業	15事業	15事業	15事業	〃
			実績値	13事業	17事業	15事業	14事業	5事業	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101	新規事業の発案については、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いたタイミングで、秋に実施した「伊東温泉秋花火」のみとなった。今後については、感染症の影響でイベントの在り方や実施方法が見直される中で、新規イベントを創出することが本当に誘客に繋がっていくのかどうかの検証を進めていく。							
	O102	イベントの精査については、ほとんどのイベントが新型コロナウイルス感染症で中止を余儀なくされたため、その効果をしっかり検証することができなかった。今後についてもそれぞれのイベントの効果を検証し、誘客に寄与しないものについては、それぞれの目的に合致した部署へ移管するか、廃止を検討していく。							
	O103	新型コロナウイルス感染症の影響により実施した5事業以外は全て中止となった。今後については、イベントの実施方法等の変更により万全の感染予防対策を実施することが可能なものについては、民間事業者と協議する中で、できるだけ実施していく方向で検討していく。							

02 おもてなしの心の育成と交流の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	自然歴史案内人会における観光ガイドの育成	自然歴史案内人会の案内人数	目標値	100人	100人	100人	100人	100人	観光課
			実績値	111人	107人	105人	104人	102人	
0202	観光サポーターの募集・運営	協力延べ人員	目標値	200人	200人	200人	200人	200人	〃
			実績値	89人	79人	82人	66人	0人	
0203	子どもたちへの観光学習機会の提供	観光についての学習実施学校数（職場体験含む）	目標値	15校	15校	15校	15校	15校	〃
			実績値	5校	4校	3校	4校	1校	
0204	市有観光施設及びイベントでの事故防止対策の推進	市が賠償した事故発生数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	〃
			実績値	0件	0件	0件	1件	0件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0201 自然歴史案内人会の案内人数については、目標を達成したが案内人の高齢化も見られるため、引き続き人材育成に努めたい。								
	0202 新型コロナウイルス感染症の影響で観光サポーターに参加いただくイベントが全て中止となった。今後も引き続き制度を継続していくため、参加いただく観光サポーターの感染症予防については万全の対策を講じていく。								
	0203 シビックプライドの醸成を目的として観光学習機会を提供してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでと同じ形での実施は難しくなった。継続して観光学習の機会を提供していくために、感染症対策等について学校と連携を図る中で実施機会を創出していく。								
	0204 観光課管理施設での事故の発生はなかった。今後もこの状況を継続するよう施設の整備点検に努めていく。								

03 外国人観光客の誘客推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	受入れ体制の整備	事業数	目標値	5事業	5事業	5事業	5事業	5事業	観光課
			実績値	4事業	2事業	1事業	5事業	0事業	
0302	プロモーション活動等の推進	実施回数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	〃
			実績値	4回	5回	8回	5回	1回	
0303	善意通訳の会への支援	会員数	目標値	30人	30人	30人	30人	30人	〃
			実績値	28人	25人	25人	25人	23人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 新型コロナウイルス感染症の影響で実施を予定していた事業についても全て中止とした。今後については、新型コロナウイルス感染症の収束後を見越した事業の展開を検討していく。								
	0302 伊東市インバウンド推進協議会が実施したタイでのプロモーションのみの実施となった。今後については、海外からの入国が規制されている中で、インバウンド需要の緊き止めとなる事業の実施を検討していく。								
	0303 これまで善意通訳の会に支援を行ってきたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動がなかったため補助を見送った。会員の高齢化や通訳という限定された人材であるため目標値の達成は難しいが、感染症の影響を注視する中で活動自体が行われるようであれば継続した支援を実施していく。								

04 観光ニーズに対応した情報の発信									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	来遊客のニーズの把握と統計調査の分析	調査項目分析数	目標値	15項目	15項目	15項目	15項目	15項目	観光課
			実績値	15項目	15項目	15項目	15項目	15項目	
0402	効果的な観光案内、観光行事の発信	観光協会HPの年間更新日数	目標値	365日	365日	365日	366日	365日	〃
			実績値	365日	365日	365日	366日	365日	
0403	着地型旅行商品の企画・実施	年間実施事業数	目標値	3事業	3事業	3事業	3事業	3事業	〃
			実績値	0事業	0事業	2事業	1事業	0事業	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401 来遊客のニーズの把握と統計調査の分析については、目標値である15項目について調査を実施した。今後については、実施している施策の結果を可視化するための項目の追加について検討していく。								
	0402 効果的な観光案内や観光行事の発信については、いつでも最新の情報を提供できるように毎日の更新に努めた。2か月に一度受託事業者から報告されるレポートをしっかりと分析し、今後もアクセスアップを図っていく。								
	0403 新型コロナウイルス感染症の影響により、接触を伴う着地型旅行商品の企画・実施は難しく、未実施となった。今後については、市内の事業者との連携を密に取り、感染症予防対策の検討と並行して事業の企画を進めていく。								

05 観光施設の高付加価値化									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	魅力ある観光スポットづくり	整備する観光施設数	目標値	10箇所	10箇所	11箇所	11箇所	12箇所	観光課
			実績値	9箇所	9箇所	12箇所	9箇所	4箇所	
0502	観光施設花壇の魅力の向上	植栽回数	目標値	3回	4回	4回	4回	4回	〃
			実績値	2回	2回	2回	2回	2回	
0503	観光施設の適正な維持管理	維持管理事業委託契約数	目標値	20本	20本	21本	21本	21本	〃
			実績値	19本	20本	20本	19本	22本	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0501 新型コロナウイルス感染症の影響で実施を中止した事業もあり、目標達成とならなかった。今後については、観光施設をPRし集客を図っていくことが重要であるため、計画的な整備を行っていく。								
	0502 例年と同様に2回の植栽にとどまった。令和3年度以降は、試験植栽を含め随時委託内容の見直しを行っていく。								
	0503 既存の委託事業を継続し、観光施設の適正な維持管理に努めるとともに、その他に委託可能な事業がないかの精査、検討を引き続き行っていく。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 市民のイベントボランティアへの参加	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントボランティアが参加する事業の実施はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後についてはイベントの在り方についてもこれまで通りの実施は難しいため、イベントを補助していただくイベントボランティアの携わり方についても、実施方法とともに検討していく。
O2 第一次産業と連携した観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 観光イベントと第一次産業を連携させた事業である「伊東温泉めちゃくちゃ市」については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、市内経済が停滞する中で、第一次産業と観光事業の連携については、市内経済を再活性化させる鍵となるため、産業課及び関連事業者と連携を図り、既存事業の実施、新規事業の立案について検討を続けていく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	4	場の力が創造する 魅力・活力のあるまち
施策分野	2	健康保養地づくりの推進
基本計画		住む人も訪れる人も元気になるまちを目指します。

主担当課	観光課・健康推進課
関係課	産業課・生涯学習課・教育総務課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
住む人も訪れる人も元気になるまちを目指します。	健康寿命（お達者度）	目標値	男性16.81年 女性20.04年	男性16.96年 女性20.19年	男性17.11年 女性20.34年	男性17.26年 女性20.49年	男性17.41年 女性20.64年	健康推進課
		実績値	男性17.48年 女性20.30年	男性17.58年 女性20.43年	男性17.67年 女性20.47年	男性17.70年 女性20.74年	R5発表	
	体験型ツアーのプログラム数	目標値	43プログラム	46プログラム	50プログラム	55プログラム	60プログラム	観光課
		実績値	40プログラム	36プログラム	53プログラム	125プログラム	125プログラム	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の健康寿命（お達者度）は、令和5年度の静岡県発表で確定する。（令和元年度 男性17.70年 女性20.74年（令和4年10月発表）） 目標値は大幅に超えているが令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新たな体験施設を追加することができなかった。 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 健康保養地づくり事業の充実・強化	健康保養地づくりに活用する資源の創出	目標値	年間2資源を創出	年間2資源を創出	年間2資源を創出	年間2資源を創出	年間2資源を創出	観光課
		実績値	2資源	1資源	1資源	1資源	2資源	
O2 市民の健康意識の向上と健康づくりの推進	運動習慣のある人の割合	目標値	男性 44.7% 女性 41.0%	男性 45.0% 女性 41.5%	男性 45.5% 女性 42.0%	男性 46.0% 女性 42.5%	男性 46.5% 女性 43.0%	健康推進課
		実績値	男性 46.8% 女性 42.7%	男性 46.2% 女性 42.7%	男性 45.0% 女性 41.2%	男性 45.2% 女性 41.6%	男性 45.3% 女性 40.8%	
O3 食育の推進	朝食接種率（成人）	目標値	70%	70%	70%	80%	90%	//
		実績値	89.8%	89.8%	89.8%	89.3%	90.3%	
O4 食の安全・安心への取組	エコファーマー数（累計）	目標値	124人	126人	128人	130人	132人	産業課
		実績値	99人	88人	83人	88人	82人	
O5 医観連携の推進	市外在住者の健診センター利用者数	目標値	500人	600人	700人	800人	900人	健康推進課
		実績値	885人	932人	1,021人	1,041人	1,018人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 ゆったり・湯めまちウィークで活用する巣雲山及び大平の森のウォーキングコースを整備した。							
	O2 新型コロナウイルス感染症の影響による外出や運動控え、及び市主催健康教室等を中止したことが影響したと推測する。							
	O3 目標値は達成した。							
	O4 JAあいら伊豆や有機農業に取組むNPO法人等と連携し、安全で安心な農産物の普及を図った。また、エコファーマー認定制度について、JAあいら伊豆と連携して既存農家、新規就農者への周知を図ったが、目標値には達しなかった。							
	O5 健診センターにおける市外在住者の利用者数は目標を上回ったことから、今後も市民病院において広報を行い来遊客受入を進める。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

01 健康保養地づくり事業の充実・強化

手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
0101 体験・交流プログラム・メニューの充実	プログラム数	目標値	41	42	43	44	45	観光課
		実績値	37	36	53	125	125	
0102 市民健康づくりプログラムの充実	プログラム数	目標値	11	12	13	14	15	〃
		実績値	9	9	9	8	4	
0103 効果的な情報発信	HPアクセス数	目標値	5,000アクセス/年	5,000アクセス/年	5,000アクセス/年	5,000アクセス/年	5,000アクセス/年	〃
		実績値	2,870アクセス	1,730アクセス	13,800アクセス	80,381アクセス	54,270アクセス	
0104 健康保養地づくりシンボル事業の推進	イベント延べ参加者数	目標値	延べ1万人	延べ1万人	延べ1万人	延べ1万人	延べ1万人	〃
		実績値	3,400人	3,300人	3,300人	3,500人	0人	
0105 オレンジビーチマラソン	申込者数	目標値	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	生涯学習課
		実績値	2,400人	2,223人	2,240人	2,427人	799人	

今年度の改善ポイントや重点方向等	0101	平成30年度に立ち上げた体験施設に特化したサイトを更新することで、プログラム・メニューの充実を図っているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新たな体験施設を追加することができなかった。今後については、感染症の状況に配慮しながら体験施設の取材を依頼し情報を追加していく。
	0102	新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた事業の半分が中止となった。今後については、感染症予防対策を徹底しての事業実施を進めるとともに、新たなプログラム開発を行えるよう、民間事業者と連携を密に図っていく。
	0103	目標値は達成しているが、前年から比較すると大きく数値が落ちている。新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の縮小が原因だと考えられる。今後についても新しい情報を追加していくことで、効果的な情報発信に努めていく。
	0104	健康フェスタ、オレンジビーチマラソンともに新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。今後については新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底することで、事業を実施することが可能であるかどうか、継続して検討していく。
	0105	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を市内在住者に限定した上、申込上限を1,000人として企画したが、12月時点で感染症の拡大傾向がみられたことから、大会を中止とした。

02 市民の健康意識の向上と健康づくりの推進

手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
0201 健康づくり意識の普及啓発	健康フェスタ参加者数	目標値	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	健康推進課
		実績値	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	中止	
0202 健康づくりのための運動の普及	市主催の運動教室*1の延べ参加者数	目標値	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	〃
		実績値	1,529人	1,634人	1,520人	1,212人	167人	
0203 運動習慣を身に付けるきっかけづくりへの支援	運動初心者を対象にした教室**の延べ参加者数	目標値	250人	250人	250人	250人	250人	〃
		実績値	265人	469人	442人	527人	152人	
0204 喫煙の害についての正しい知識の普及啓発	女性の喫煙率	目標値	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%	9.0%	〃
		実績値	11.2%	11.8%	11.5%	11.3%	10.8%	
0205 受動喫煙防止の啓発	市有施設の完全分煙の割合**3	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	〃
		実績値	20%	25%	23%	80%	78%	

今年度の改善ポイントや重点方向等	0201	令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため中止
	0203	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止、参加者の減少又は不参加状態となった。
	0202	令和元年度より一部事業が介護予防事業へ移行し、実施内容や募集人数を見直した結果、参加者数が減少したため目標を達成できなかった。
	0204	国民全体の健康意識の向上も影響して前年より数値は改善したが目標値には達しなかった。
0205	指標となる施設（幼稚園、学校）の閉園又は閉校により減少となった。	

※1 市主催の運動教室：健脳健身教室、水中運動と陸上運動を組み合わせた健康教室等

※2 運動初心者を対象にした教室：運動を始めたいきっかけエクササイズ、生活習慣病予防教室等

※3 市有施設のうち敷地内全面禁煙達成の割合

O3 食育の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	食を通じた関係団体のネットワーク化	食育推進団体活動延べ人数	目標値	2,000人	2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	健康推進課
			実績値	3,122人	3,485人	3,010人	2,804人	949人	
0302	地域の栄養・食生活改善に向けて啓発・向上	栄養教育相談延べ参加者数	目標値	2,000人	2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	//
			実績値	4,823人	3,294人	3,292人	2,807人	530人	
0303	バランスの良い食生活の普及	栄養バランスのとれた朝食摂取率（幼・小・中学校）	目標値	80%	80%	80%	80%	80%	教育総務課
			実績値	51.8%	42.0%	63.0%	49.3%	49.2%	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0301 新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止、参加者の減少又は不参加状態となった。							
		0302 新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止、参加者の減少又は不参加状態となった。							
		0303 幼稚園26.7%、小学校52.0%に対し、中学校については81.0%と目標値を達成したことは、栄養教諭が中心となり朝食における栄養バランスの大切さや、家庭への啓発資料の作成等、具体的な普及策を施した一定の成果と捉えている。今後は、年齢の低い子ども、家庭への働きかけを強めていきたい。							

O4 食の安全・安心への取組									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	持続性の高い農業生産方式の導入促進	エコファーマー数	目標値	124人	126人	128人	130人	132人	産業課
			実績値	99人	88人	83人	88人	82人	
0402	自然農法技術指導	自然農法講座受講者数	目標値	200人	200人	200人	200人	200人	//
			実績値	179人	183人	197人	239人	204人	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0401 適切な土づくりを推進するため、有機性資源を循環利用したい肥の積極的利用を推進する。また、新たな農薬、肥料等の資材を利用する場合には、その導入リスクを最小とするため、地域農業改良普及センター、JAあいら伊豆の営農指導等を十分に活用するよう努めていく。							
		0402 有機農業に取り組むNPO法人と連携し、自然農法受講者を増やし、安全で安心な農産物の普及を図る。							

O5 医観連携の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	観光資源として活用できる健診機能の整備	健診センター数	目標値	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	健康推進課
			実績値	1施設	1施設	1施設	1施設	1施設	
0502	来遊客の急病等に対応できる救急医療体制	診察日数	目標値	365日	365日	365日	366日	365日	//
			実績値	365日	365日	365日	366日	365日	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0501 健診センターの利用者の増加を図るため、市民病院において広報を行うとともに、来遊客についても受入を進めていく。							
		0502 現在の救急医療体制を継続するとともに、伊東市民病院の救急医療を充実させ来遊客の安心につなげるため、医療従事者の確保等について病院と連携し支援を行っていく。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 地域や民間団体による積極的な健康づくりへの関わり	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり教室（市内民間施設と協働） 食べ方教室（食育推進団体との協働） 野菜レシピコンテスト（食育推進団体との協働） 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防対策を講じた上で、健康保養地づくり事業には、民間団体との協働が欠かせないため、今以上に連携を密にして事業を実施する。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標 4	場の力が創造する 魅力・活力のあるまち	主担当課	観光課
施策分野 3	広域連携による誘客の拡充	関係課	—
基本計画	(伊豆)地域の幅広い連携を通して、滞在型観光が可能な魅力ある観光地を目指します。	作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
(伊豆)地域の幅広い連携を通して、滞在型観光が可能な魅力ある観光地を目指します。	観光交流客数（伊豆半島7市6町）	目標値	4,000万人	4,050万人	4,100万人	4,150万人	4,200万人	観光課
		実績値	4,467万人	4,682万人	4,646万人	4,386万人	2,307万人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	・令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け計画期間で唯一目標の数値を達成できなかった。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 美しい伊豆創造センターの強化・充実	観光交流客数（伊豆半島7市6町）	目標値	4,000万人	4,050万人	4,100万人	4,150万人	4,200万人	観光課
		実績値	4,467万人	4,682万人	4,646万人	4,386万人	2,307万人	
O2 伊豆半島ジオパーク推進協議会の強化・充実	世界ジオパークネットワークへの加盟	目標値			加盟			〃
		実績値			加盟			
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け計画期間で唯一目標の数値を達成できなかった。							
	O2 平成30年4月17日にユネスコ世界ジオパークネットワークへの加盟が承認された。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 美しい伊豆創造センターの強化・充実								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 伊豆半島DMOの推進	観光交流客数（伊豆半島7市6町）	目標値	4,000万人	4,050万人	4,100万人	4,150万人	4,200万人	観光課
		実績値	4,467万人	4,682万人	4,646万人	4,386万人	2,307万人	
O102 連携強化による情報発信の充実	観光交流客数（伊豆半島7市6町）	目標値	4,000万人	4,050万人	4,100万人	4,150万人	4,200万人	〃
		実績値	4,467万人	4,682万人	4,646万人	4,386万人	2,307万人	
O103 広域インハウンドの推進	外国人宿泊客数（伊豆半島7市6町）	目標値	495,000人	540,000人	585,000人	630,000人	675,000人	〃
		実績値	524,386人	492,830人	539,770人	646,530人	65,230人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け計画期間で唯一目標の数値を達成できなかった。今後については、コロナ収束を見越した広域観光施策を美しい伊豆創造センターに提案していくとともに、実施の際にはしっかりと連携し、数値の回復を図っていく。							
	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、大幅に数値を落とした。外国人の渡航制限が完全に解除された際の集客のため、海外に向けた情報発信を美しい伊豆創造センターと連携して実施することで観光需要を繋ぎ止めていく。							

O2 伊豆半島ジオパーク推進協議会の強化・充実								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201 ジオサイトの整備・充実	整備箇所数	目標値	11箇所	12箇所	13箇所	14箇所	15箇所	観光課
		実績値	8箇所	14箇所	17箇所	20箇所	21箇所	
O202 伊豆半島ジオパークと各種観光施策の連携	連携事業実施数	目標値	1事業以上	1事業以上	1事業以上	1事業以上	1事業以上	〃
		実績値	3事業	5事業	2事業	2事業	2事業	
今年度の改善ポイントや重点方向等	新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等の人と人との距離が近い催しによる集客ではなく、景勝地やジオサイト等の地域資源をPRして集客していくことが重要となってくるため、今後についても継続した整備を実施していく。							
	伊豆半島ジオパークと各種観光施策の連携では、引き続きジオテラスを運営し広く周知していくとともに、案内看板等の整備を進めていく。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 民間事業者の積極的な事業への取組	・令和元年までは各指標とも順調な推移を見せていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度については、交流客数及び宿泊客数の数値は大きく落ち込んだ。	・広域観光施策については、美しい伊豆創造センターと連携し、感染症の状況を注視して推進していく。 ・令和3年度についてはユネスコ世界ジオパークネットワークの再認定審査の年となっている。新型コロナウイルス感染症の影響でどのように実施されるのかまだ不透明なところもあるが、伊豆半島ジオパーク推進協議会と連携を図り、再認定を目指していく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	4	場の力が創造する 魅力・活力のあるまち
施策分野	4	商工業の振興
基本計画		活発な商工業活動が行われ、働く場が多いまちを目指します。

主担当課	産業課
関係課	企画課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
活発な商工業活動が行われ、働く場が多いまちを目指します。	商品販売額	目標値	927億円	936億円	945億円	954億円	964億円	産業課
		実績値	1,157億円	—	—	—	—	
	製造品出荷額	目標値	99億円	100億円	101億円	102億円	103億円	〃
		実績値	102億円	102億円	101億円	92億円	89億円	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 商品販売額については、平成28年経済センサス活動調査の数値が最新で、平成26年度商業統計調査の数値（1,018億円）と比べ増加となり、目標値を上回った。（平成29年度から令和2年度は調査がないため”—”としている。） 製造品出荷額については、令和元年度に比べ減少となり、目標値を下回った。（令和2年数値は、令和2年度工業統計調査の速報結果で、令和元年の数値の集計結果となる。） 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 商工業への支援体制の強化	リフォーム助成件数	目標値	370件	370件	370件	370件	370件	産業課
		実績値	319件	362件	339件	460件	457件	
	伊東市開業パワーアップ支援資金貸付金利子補給件数	目標値	8件	8件	8件	8件	8件	〃
		実績値	22件	18件	18件	16件	11件	
O2 地域の商業の活性化	創業支援事業計画に基づく創業数	目標値	14件	14件	14件	14件	14件	〃
		実績値	34件	16件	16件	12件	14件	
O3 雇用の確保	有効求人倍率	目標値	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	〃
		実績値	2.06	1.71	1.55	1.22	0.89	
O4 企業誘致の取組	企業立地件数	目標値	1件	1件	1件	1件	1件	企画課
		実績値	0件	0件	1件	1件	2件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	リフォーム助成事業については、積極的に広報を実施するとともに、予算の消化状況に応じた増額補正により切れ目のない経済対策とすることで、目標を達成することができた。 起業支援及び空き店舗対策事業や創業支援事業（伊東創業塾）などとの相乗効果で、伊東市開業パワーアップ支援資金貸付金利子補給件数は目標値を上回った。						
	O2	創業支援事業計画に係る創業相談窓口の設置、起業支援及び空き店舗対策事業、創業支援事業（伊東創業塾）等、創業促進体制を構築し、目標を達成することができた。 商業パワー全開事業により、自主的に新たな賑わいづくり等に取り組む商店街等を支援し、集客アップを図った。 商店街イベント助成事業により、商店街の組織力の強化を図った。 伊東産活力創出事業を通して、伊東ブランド認定品保有事業者の経営支援強化に努めた。 お菓子共和国事業への助成を行い、伊東のお菓子をPRすることで、菓子関連業界の振興を図った。						
	O3	令和2年度の有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、雇用情勢が大きく変化し、目標値を下回る結果となった。 高齢者の就業機会の拡大と福祉の増進を図り、高齢者の能力をいかした活力ある地域づくりに努めた。						
	O4	企業誘致の取組については、サテライトオフィスを市内に新たに設置を検討する事業者に対し、開設・運営に係る費用や視察に係る費用を補助するため、伊東市サテライトオフィス等支援事業補助金交付要綱を制定している。令和2年度においては、継続補助の企業1件及び新規補助の企業1件の計2件の補助金活用があり、市内にサテライトオフィスを設置した。						

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	住宅・店舗リフォーム工事費の助成による建築関連業の振興	リフォーム助成件数	目標値	370件	370件	370件	370件	370件	産業課
			実績値	319件	362件	339件	460件	457件	
O102	木造住宅の建替に対する助成による建築関連業の振興	木造住宅建替経費助成件数	目標値	9件	9件	9件	9件	9件	〃
			実績値	5件	11件	6件	10件	7件	
O103	小口資金等の制度融資への利子補給による中小企業への金融支援	小口資金融資取扱い件数	目標値	140件	140件	140件	140件	140件	〃
			実績値	101件	112件	69件	100件	103件	
		小規模事業者経営改善資金貸付金への利子補給件数	目標値	30件	30件	30件	30件	30件	〃
			実績値	78件	63件	64件	50件	32件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 住宅リフォーム振興事業、店舗リフォーム振興事業、木造住宅建替支援事業とともに、随時ニーズに合わせた制度改良を検討するとともに、さらなる周知徹底により利用促進を図る。								
	O103 新型コロナウイルス感染症対策として優遇された融資制度が多様にある中で、小口資金融資制度や小規模事業者経営改善資金制度についても、事業者が選択できる融資制度の一つとして周知徹底を図る。								

O2 地域の商業の活性化									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	創意工夫による商店街のにぎわい創出事業や買い物弱者支援のための環境整備事業に対する支援	補助金交付件数	目標値	4件	4件	4件	4件	4件	産業課
			実績値	3件	6件	4件	3件	4件	
0202	意欲ある個店に対し、中小企業診断士による経営支援強化を実施	個別経営相談回数	目標値	10回	10回	10回	10回	10回	〃
			実績値	16回	14回	22回	14回	31回	
0203	菓子等の地域魅力となる産業の支援	お菓子い共和国一般国民加入数	目標値	20人	20人	20人	20人	20人	〃
			実績値	13人	34人	52人	73人	33人	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0201 商店街、市内商業者で構成される団体等が実施するイベント等に対し支援を行い、商店街の活性化及び商業振興を図る。							
		0202 事業者のニーズに的確にとらえた経営支援メニューを取り揃えた個別相談を実施する。							
		0203 「勝手にバースデー」や「勝手にギフト」などお菓子い共和国国民になることのメリットを感じられるような事業を充実させ、国民加入数増強を図る。							

O3 雇用の確保									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	パソコン講座の開催による離転職者の再就職支援	パソコン講座受講者数	目標値	18人	18人	18人	18人	18人	産業課
			実績値	14人	6人	7人	9人	9人	
0302	ハローワーク、伊東商工会議所との協働で実施する合同就職面接会の開催回数	合同就職面接会の開催回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	〃
			実績値	1回	0回	0回	0回	0回	
0303	伊東高等職業訓練校の活動支援による建設・製造業に関わる人材の育成	訓練生数	目標値	19人	19人	19人	19人	19人	〃
			実績値	16人	19人	26人	21人	23人	
0304	シルバー人材センターの活動支援による高齢者の就業機会の拡大	受注件数	目標値	1,620件	1,620件	1,620件	1,620件	1,620件	〃
			実績値	1,620件	1,575件	1,459件	1,405件	1,372件	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0301 講座の周知方法や期間を見直し、より多くの離転職者へ周知を図っていく。							
		0302 合同就職説明会の開催は見送り、新型コロナウイルス感染症のまん延に係る雇用情勢の変化の把握と課題の抽出を行い、解決策を検討するべく雇用問題対策会議を開催していく。							
		0303 新聞、広報いとうなどによる広報活動のほか、各事業所に対する依頼・呼びかけなどにより、積極的に訓練生の募集を図る。							
		0304 新型コロナウイルス感染症のまん延に係る雇用情勢の変化の把握に努めつつ、引き続き、シルバー人材センター諸活動の普及啓発によりシルバー会員の増強を図り、様々なニーズに応えられる受注体制を構築していく。							

O4 企業誘致の取組									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	企業誘致に関する調査、情報収集	企業訪問等件数	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	企画課
			実績値	1件	1件	2件	1件	9件	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0401 静岡県東京事務所との連携により、オンラインを中心に企業と接触する機会が増加している。今後も積極的に企業との接触機会を増やし、企業のニーズを把握し対応することで企業誘致の成果に繋げていく。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 商店街を活用したイベントの開催	・商業パワー全開事業を活用し、3商店街及びNPO法人1団体が独自のイベントや事業を実施	・引き続き、商業パワー全開事業補助金の利用促進を図り、商店街のみならず、市内中小企業団体などのイベント事業を支援し、商業の活性化を図る。 ・引き続き、民間事業者のノウハウを取り入れ、広報拠点「ぬくもーる」を官民協働で運営する。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	4	場の力が創造する 魅力・活力のあるまち
施策分野	5	農林業の振興
基本計画		意欲ある担い手が育成確保され、農林業が安定的に営まれるまちを目指します。

担当課	産業課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
意欲ある担い手が育成確保され、農林業が安定的に営まれるまちを目指します。	耕作放棄地面積	目標値	44ha	43ha	42ha	41ha	40ha	産業課
		実績値	36ha	26ha	36ha	35ha	33ha	
	エコファーマー数	目標値	124人	126人	128人	130人	132人	〃
		実績値	99人	88人	83人	88人	82人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地対策については、現在も未把握な荒廃農地が存在するが、農業委員及び農地最適化推進委員の農家への呼びかけにより担い手への貸出しが行われ農地の再生に寄与した。 エコファーマー認定制度について、JAあいら伊豆と連携して既存農家、新規就農者への周知を図ったが、目標値には達しなかった。 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 担い手の育成・確保	認定件数	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	産業課
		実績値	1件	3件	1件	0件	0件	
O2 鳥獣被害防止及び耕作放棄地対策	鳥獣被害金額	目標値	5,216千円	4,916千円	4,616千円	4,316千円	4,016千円	〃
		実績値	6,667千円	2,656千円	1,096千円	2,401千円	3,378千円	
O3 食の安全・安心への取組及び食育の推進	エコファーマー数	目標値	124人	126人	128人	130人	132人	〃
		実績値	99人	88人	83人	88人	82人	
O4 森林整備事業の促進	森の力再生事業整備面積	目標値	20ha	20ha	20ha	20ha	20ha	〃
		実績値	17.5ha	5.9ha	4.4ha	0.0ha	1.47ha	
O5 活発な農業委員会運営	利用権設定面積	目標値	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	〃
		実績値	0.8ha	3.1ha	1.5ha	3.1ha	3.9ha	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 認定農業者制度について、新規の認定農業者はいなかったが、既存の認定農業者の更新を行い認定農業者の減少に歯止めをした。							
	O2 鳥獣被害防止対策については、あいら伊豆広域有害鳥獣対策協議会と連携を図り積極的な捕獲及び防除を実施するとともに、臨時職員2人を雇用し、市内の農地及び住宅地等において箱わなによる捕獲を行い、被害防止を図った。							
	O3 耕作放棄地対策については、農地パトロールを実施して、山林化していた農地の所有者に対して非農地判断を通知して地目の変更を促した。							
	O4 JAあいら伊豆や有機農業に取り組むNPO法人等と連携し、安全で安心な農産物の普及を図った。また、エコファーマー認定制度について、JAあいら伊豆と連携して既存農家、新規就農者への周知を図ったが、目標値には達しなかった。							
	O5 森の力再生事業を中心に森林整備を進めたが、森の力再生事業の条件に合致する森林は年々減少傾向にあるため、目標達成には至らなかった。災害等の予防策として、森の力再生事業を活用した荒廃森林の整備は今後も求められるため、施策目標の達成に向けて森林所有者等への制度周知を継続して推進する。							
O5 農地中間管理事業を積極的に活用することによって、農地の出し手と借り手を結び付け担い手への利用集積につなげた。								

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 担い手の育成・確保									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	認定農業者の認定	認定件数	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	産業課
			実績値	1件	3件	1件	0件	0件	
O102	新規就農者に対する支援	支援件数	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	〃
			実績値	3件	2件	2件	1件	2件	
O103	就農希望者に対する支援	就農希望者名簿搭載数	目標値	25人	25人	25人	25人	25人	〃
			実績値	14人	14人	20人	10人	21人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 農業委員会、JAあいら伊豆及び関係団体等と新規就農者への今後の支援策等について話し合いを行っていくとともに、認定農業者制度について、JAあいら伊豆と連携し周知を図る。								
	O102 NPO法人が開設した担い手育成型市民農園利用者に対し、就農支援を行い、担い手の確保につなげる。								
	O103 新規就農希望者の相談に対し、継続的な支援ができるよう名簿に登載するとともに、就農支援事業を利用した規模拡大を推奨する。								

O2 鳥獣被害防止及び耕作放棄地対策									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	有害鳥獣駆除（猪・鹿・ハクビシツ・タイワリス）	駆除頭数（市許可分）	目標値	1,500頭	1,500頭	1,500頭	1,500頭	1,500頭	産業課
			実績値	1,875頭	1,583頭	1,055頭	1,013頭	1,322頭	
0202	狩猟者の確保（第1種・2種銃猟及びわな猟）	新規会員数	目標値	2人	2人	2人	2人	2人	〃
			実績値	7人	10人	5人	7人	4人	
0203	耕作放棄地解消事業の実施	耕作放棄地面積	目標値	44ha	43ha	42ha	41ha	40ha	〃
			実績値	36ha	26ha	36ha	35ha	33ha	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 あいら伊豆広域有害鳥獣対策協議会を中心に、関係機関と連携し、駆除及び被害防止対策を行う。								
	O202 奥山・農地周辺・民家庭先等市内のあらゆる場所における鳥獣被害に対し、捕獲・防除を実施し市民生活の安全を図る。								
	O203 新規に発生した耕作放棄地に対して利用意向調査を実施し、農地の保全に努めるよう啓発していく。								

O3 食の安全・安心への取組及び食育の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	持続性の高い農業生産方式の導入促進	エコファーマー数	目標値	124人	126人	128人	130人	132人	産業課
			実績値	99人	88人	83人	88人	82人	
0302	自然農法技術指導	自然農法講座受講者数	目標値	200人	200人	200人	200人	200人	〃
			実績値	179人	183人	197人	239人	204人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O301 適切な土づくりを推進するため、有機性資源を循環利用したい肥の積極的利用を推進する。また、新たな農薬、肥料等の資材を利用する場合には、その導入リスクを最小とするため、地域農業改良普及センター、JAあいら伊豆の営農指導等を十分に活用するよう努めていく。								
	O302 有機農業に取り組むNPO法人と連携し、安全で安心な農産物の普及を図る。								

O4 森林整備事業の促進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	森林の荒廃防止のための林道、治山対策の推進	林道災害発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	産業課
			実績値	5件	5件	3件	10件	1件	
0402	自然と親しむことのできる森林の整備	民間団体による整備面積	目標値	32ha	10ha	10ha	10ha	10ha	〃
			実績値	47ha	12.6ha	16.2ha	44ha	25.6ha	
0403	森林ボランティア育成	～H29 里山講座参加者数 H30～ 森林保全活動参加者数	目標値	70人	70人	70人	70人	70人	〃
			実績値	56人	52人	50人	41人	28人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O401 災害発生を未然に防止できるよう、定期的な林道パトロールを行い、危険個所の把握、必要な維持管理に努める。								
	O402 森林所有者や地域住民が協力して森林の有する機能を発揮させるための保全活動を行う活動組織を支援する。								
	O403 森林保全に取り組むボランティア団体の活動に着目し、森林保全活動参加者の増加に向け広報等支援する。								

O5 活発な農業委員会運営									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	農業経営基盤強化促進法に基づく農用地の利用	利用権設定面積	目標値	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	0.3ha	農業委員会
			実績値	0.8ha	3.1ha	1.5ha	3.1ha	3.9ha	
0502	農業者年金の加入促進	加入者数	目標値	1人	1人	1人	1人	1人	〃
			実績値	0人	1人	1人	1人	0人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O501 農地中間管理機構、農業委員会、JAあいら伊豆等の関係団体が連携し、農地中間管理事業の周知を図ることによって、担い手への農地利用集積につなげる。								
	O502 農業委員会、JAあいら伊豆等を通じて、若手農業者を中心に農業者年金の周知を行うことによって、加入促進を図る。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 観光と連携した地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> 新たな特産物として加工用トマトの栽培を行っている団体と連携し、加工製品の製造や新聞等でのPRを行い、6次産業化の推進を図った。 ファーマーズマーケット、いとうの朝市による地場産品の直売に対して支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産者と連携し、伊東で生産されている野菜や加工製品等をイベントで販売するとともに、市内のホテルやレストランにPRし、地産地消の推進を図る。
O2 市民参加の森づくり推進	<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する機能を発揮させるための保全活動の取組に対して支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林ボランティアや地域活動組織が行う事業を支援し、多くの市民が気軽に森づくりに参加できる環境を整える。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	4	場の力が創造する 魅力・活力のあるまち
施策分野	6	水産業の振興
基本計画		意欲ある担い手が確保育成され、水産業が安定的に営まれるまちを目指します。

主担当課	産業課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
意欲ある担い手が確保育成され、水産業が安定的に営まれるまちを目指します。	水揚げ数量	目標値	6,128トン	6,128トン	6,128トン	6,128トン	6,128トン	産業課
		実績値	4,593トン	3,913トン	4,467トン	3,636トン	3,982トン	
指標の達成度 《今年度実績評価》	天候不順による操業日数の減少、海況の変化、昨年から続いている黒潮大蛇行など自然的な要因により、水揚げに大きな影響を及ぼしたことから目標値を大きく下回った。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 担い手の育成・確保	漁業者数	目標値	314人	314人	314人	314人	314人	産業課
		実績値	306人	302人	291人	271人	266人	
O2 安定した漁業の推進	水揚げ高	目標値	960百万円	960百万円	960百万円	960百万円	960百万円	〃
		実績値	897百万円	768百万円	668百万円	524百万円	484百万円	
O3 魚食の普及	魚おろし方教室参加者数	目標値	200人	200人	200人	200人	200人	〃
		実績値	106人	179人	249人	174人	0人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 新規就労の相談案件はなく、高齢による廃業が相次ぎ漁業者数が減少した。							
	O2 水揚げ量が増加したものの、魚価の低いものが比較的多く水揚げされたため、水揚げ高は伸びず、目標達成には至らなかった。							
	O3 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で教室等の開催が厳しい状況にあったため、実施に至らなかった。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 担い手の育成・確保								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 漁業就労者等への支援	就労者等支援件数	目標値	4人	4人	4人	4人	4人	産業課
		実績値	3人	3人	2人	5人	5人	
O102 青年漁業者等の育成	新規認定漁業士数	目標値	1人	1人	1人	1人	1人	〃
		実績値	0人	1人	0人	1人	2人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 漁業者等が漁船設備や漁具などの資本装備の高度化を図るため、金融機関（信漁連）から資金を借り受けて整備する場合に発生する利子に対して補助することで、漁業経営の安定化を後押ししていく。							
	O102 いとっ漁協や静岡県水産技術研究所伊豆分場と連携し、認定漁業士や青年漁業士の掘り起こしを行い、地域漁業のリーダーを確保し、若手漁業者の育成を図っていく。							
O2 安定した漁業の推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201 沿岸漁場での資源拡大対策の推進	各種放流魚等水揚げ量	目標値	20トン	20トン	20トン	20トン	20トン	産業課
		実績値	16トン	22トン	13トン	13トン	9トン	
O202 ブランド化の推進と流通経路の拡大	スーパー直販水揚げ量	目標値	40トン	40トン	40トン	40トン	40トン	〃
		実績値	8トン	4トン	5トン	6トン	4トン	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 伊豆地域の漁協、漁業関係団体及び行政機関等で構成される伊豆地域栽培漁業推進協議会が取り組む放流事業に対して支援を行い、効率良く高い効果が得られる方法を関係機関と協議する中で、つくり育てる栽培漁業を推進していく。							
	O202 サバ等のすり身を使った加工品が多く開発されているため、鮮魚はもとより加工品においても大手スーパーや大型店舗などへの流通経路や販路拡大に向けた取り組みを展開し、魚価の安定・向上を確保していく。							

03 魚食の普及									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	魚のおろし方教室の開催	教室参加者数	目標値	200人	200人	200人	200人	200人	産業課
			実績値	106人	179人	249人	174人	0人	
0302	地魚取扱事業所の普及	事業所数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件	〃
			実績値	14件	7件	3件	1件	0件	
0303	各種イベントへの参加等PR	回数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	〃
			実績値	9回	10回	8回	8回	1回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で教室等の開催が厳しい状況にあったため、実施に至らなかった。							
	0302	伊豆・いとう地魚王国の取組などを積極的に発信し、魅力ある団体であることをイメージ付け、地域全体で水産業の6次産業化の取組が図れるよう、地魚取扱事業所数を増やしていく。							
	0303	新型コロナウイルス感染症の影響により、県内や首都圏で開催される物産展や商談会への支援事業が中止となってしまったため減少した。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 観光と連携した地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛により、魚食普及事業、物産展や商談会への支援事業等の様々な事業が中止となった。 屋内事業については中止となったが、屋外の磯あそび事業については、感染症拡大防止に努めながら事業を実施した。 地魚王国のロゴマークの商標登録申請を行い、加盟店（団体）取扱商品等に表示できる環境を整えることで、PRを図るとともに、その販売力を強化する出願を行い、商標を取得した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「魚の捌き方」についての動画を撮影し、YouTubeで公開することで、地魚王国の周知を幅広く行っていく。 伊豆急行が運行している地域プロモーション列車「キンメ列車」の車両装飾を実施するとともに、車両内にある有料広告枠を借り上げ、加盟団体等の広告宣伝活動を合わせて実施していく。